

様式1

平成29年度観光振興部予算見積総括表

一般会計

平成29年度予算見積額	3,920,458 千円
平成28年度当初予算額	1,915,245 千円
差引増減額	2,005,213 千円
対前年度比率	204.7 %

(注1)上記には、人件費を含まない。

(注2)平成28年度当初予算額は、地方創生による前倒し分を含む。

平成29年度 観光振興部 施策体系表

435万人観光の早期実現に向けて

(単位：千円)

細目事業名	H28当初 予算額	H29当初 予算額	増減 (H29 - H28)	主な新規・拡充・廃止・代替事業等	担当課名
1. 戦略的な観光づくり	532,105	1,722,171	1,190,066		
地域観光推進事業費	415,691	1,533,132	1,117,441	・観光拠点等整備事業費補助金 485,416千円 (+298,598)【拡充】 ・自然を生かしたアワードポイントの整備等拡充 ・地域観光商品造成等委託料 48,000千円 (▲4,000) ・広域観光推進事業費補助金 95,000千円 (▲59,000) ・歴史観光資源等強化事業費補助金 878,936千円 (増増)【拡充】 ・「志国高知 幕末維新博」の開催に向け、各地域会場等の置き上げや観光クラスター形成を行う	地域観光課
足摺海洋館管理運営費	116,414	189,039	72,625	・足摺海洋館東施設設計委託料 106,256千円 (増増)【新規】 ・足摺海洋館造成設計委託料 3,876千円 (増増)【新規】 ・足摺海洋館取水口改修調査等委託料 6,048千円 (増増)【新規】 ・足摺海洋館基本設計委託料 0千円 (▲50,765千円)【廃止】 ・足摺海洋館地質調査委託料 0千円 (▲6,139千円)【廃止】	地域観光課
2. 効果的なセールス&プロモーション	645,095	1,338,024	692,929		
観光振興推進事業費 (うち観光振興推進事業費補助金[国際観光振興誘致事業]及び「観光客受入事業」を除く)	645,095	1,338,024	692,929	・志国高知幕末維新博推進事業費補助金 560,958千円 (増増)【拡充】 「志国高知 幕末維新博」の開催にあたり、誘客、広報、受入の事業を行う。志国高知幕末維新博推進協議会に、事業費及び運営に係る経費を補助する ・前年度観光情報発信事業 9,847千円 (▲142) ・前年度のメディアに対するPRリサーチ活動等を行う ・観光振興推進事業費補助金 【観光誘致事業(国内)】183,627千円 (+51,147)【拡充】 幕末維新博を見送った、旅行商品造成への助成の強化 【プロモーション事業】97,149千円 (▲57,422)【縮小】 幕末維新博のプロモーションと重複する部分を縮小 【スポーツ誘致事業】157,630千円 (+21,638)【拡充】 アマチュアスポーツ会場への助成拡充、自然を活かしたスポーツイベントへの支援等	観光政策課
3. OMOTENASHI (おもてなし) の推進	485,282	563,037	77,755		
おもてなし推進調査費	10,986	22,959	11,973	・観光特使イベント等実施委託料 4,696千円 (増増)【新規】 観光特使の交流会を委託により実施する	おもてなし課
おもてなし活動推進事業費	4,279	4,605	326		おもてなし課
おもてなし基盤整備事業費	73,237	88,056	14,819	・外国人観光客内所設置等補助金 7,410千円 (増増)【新規】 外国人観光客の満足度向上のため、外国人観光客内所の新規開設や機能強化を支援 ・客船受入等業務委託料 51,018千円 (+36,563)【拡充】 外国クルーズ客船の受入態勢の充実、寄港地の増及び乗組員の配置の見直しによる拡充 ・バリアフリー状況調査等業務委託 4,000千円 (増増)【新規】 県内の観光施設等のバリアフリーの状況等の調査を実施 ・津波避難誘導案内施設設置工事経費 8,254千円 (+1,479)【拡充】 多言語津波避難誘導案内施設の設置 ・通訳コールセンター運営委託料 3,302千円 (+908)【拡充】 外国人観光客に対応できる多言語通訳コールセンターの設置 ・国際観光客受入環境整備事業費補助金 0千円 (▲33,000)【廃止】	おもてなし課
観光振興推進事業費 (うち観光振興推進事業費補助金[観光客受入事業])	396,780	447,417	50,637	・観光振興推進事業費補助金 【観光客受入事業】447,417千円 (+50,637)【拡充】 多言語メニューの普及啓発、外国クルーズ客船の受入態勢の強化、こち広場の充実等	観光政策課 (おもてなし課)
4. 国際観光の推進	252,763	297,226	44,463		
国際観光推進事業費	65,769	131,701	65,932	・推進観光商品販売委託料 20,000千円 (増増)【新規(内容見直し)】 ・食を切り口としたプロモーション委託料 5,400千円【新規】 ・前年度等海外マスメディア情報発信委託料 5,000千円【新規】 ・よさこいアンバサダー招へい等業務委託料 11,084千円【新規】 ・よさこいゲーム海外派遣委託料 21,138千円【新規】 ・「Yosakoi Guide Book Kochi」作成委託料 3,000千円【新規】	おもてなし課
観光振興推進事業費 (うち観光振興推進事業費補助金[国際観光振興誘致事業])	126,262	103,557	▲22,705	・観光振興推進事業費補助金 【国際観光振興誘致事業】103,557千円 (▲22,705)	観光政策課 (おもてなし課)
観光振興企画調査費	60,732	61,968	1,236	・四国ツーリズム創造機構負担金 35,000千円	観光政策課
5. 事業体の強化と観光人材の育成(再掲)	480,702	1,599,705	1,119,003		
地域観光推進事業費	415,691	1,533,132	1,117,441	・地域観光商品造成等委託料 48,000千円 (▲4,000) ・観光拠点等整備事業費補助金 【地域観光クラスター化支援事業】2,000千円 (▲3,000) ・広域観光推進事業費補助金 95,000千円 (▲59,000)	地域観光課
観光振興企画調査費	60,732	61,968	1,236	・観光ガイド会議 841千円 (▲369)	観光政策課
おもてなし活動推進事業費	4,279	4,605	326	・観光ガイド育成事業費 2,598千円 (+300)	おもてなし課
部 合 計	1,915,245	3,920,458	2,005,213		

※H28当初予算額は、地方創生による前借し分を含む

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

【方向性】歴史、食、自然を一体的に運動させた戦略的な観光地づくりの推進

取組方針

- (1) 歴史資源の徹底した磨き上げ(リアル化)と、歴史文化や食、自然などを一体的に運動させた観光地づくり(クラスタ化)
- (2) 本県の豊かな自然を活かしたアウトドア拠点の整備
- (3) 官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化
- (4) 周遊の促進

平成29年度の主な事業

- 観光拠点等整備事業費補助金 485,416千円 新 規
- 地域観光商品造成等委託料 48,000千円 新 規
- 広域観光推進事業費補助金 96,000千円 新 規
- 歴史観光資源等強化事業費補助金 878,936千円 新 規
- 足摺海洋館施設整備費 121,711千円 新 規

戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

【方向性】幕末維新博覧会(仮称)の開催を通じたプロモーションとセールス活動の強化

取組方針

- (5) 効果的な広報・セールス活動の展開
- (6) 自然環境を活かしたスポーツツーリズムの推進
- (7) コンベンション等(MICE)の誘致活動の強化

平成29年度の主な事業

- 志国高知幕末維新博覧会推進事業費補助金 660,958千円 新 規
- 首都圏等観光情報発信事業 9,847千円 新 規
- 観光振興推進事業費補助金 183,627千円 新 規
- 観光客誘致事業(国内) 97,149千円 新 規
- 観光振興推進事業費補助金 157,630千円 新 規

戦略の柱3 OMOTENASHI

(おもてなし)の推進

【方向性】外国人観光客にも対応した受入基盤の抜本的整備

取組方針

- (8) 国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

平成29年度の主な事業

- 外国人観光客案内所設置等補助金 7,410千円 新 規
- 客船受入等業務委託料 51,081千円 新 規
- 津波避難誘導案内板設置工事請負費 8,254千円 新 規
- 通訳コールセンター運営委託料 3,302千円 新 規
- 観光振興推進事業費補助金 447,417千円 新 規

戦略の柱4 国際観光の推進

【方向性】外国人観光客のニーズに対応した商品づくりと高知県の認知を飛躍的に向上させるプロモーションの展開

取組方針

- (9) 外国人観光客向け旅行商品づくりの抜本強化
- (10) 四国4県が連携した広域国際観光の推進
- (11) 2020年東京オリ・パラに向けた「よさこい」の戦略的な活用

平成29年度の主な事業

- 国際観光振興推進事業費 43,683千円 新 規
- よさこいプロモーション事業費 69,679千円 新 規
- 観光振興推進事業費補助金 103,557千円 新 規
- 国際観光振興誘致事業 35,000千円 新 規
- 四国ツーリズム△創造機構負担金

戦略の柱5 事業体の強化と観光人材の育成

【方向性】観光産業を支える人材の育成と事業体の強化

取組方針

- (12) 観光産業を支える事業体の強化や人材の育成と商品造成力の向上

平成29年度の主な事業 (再掲)

- 地域観光商品造成等委託料 48,000千円
- 観光拠点等整備事業費補助金 2,000千円
- 広域観光クラスタ化支援事業 96,000千円
- 観光みらい会議の開催 841千円
- 観光ガイド育成事業費 2,598千円

全体を下支え

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

- ①歴史と食を一体的に連動させた戦略的な観光地づくり ③官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化
 ②本県の豊かな自然を活かしたアウトドア拠点の整備

拡 (1) 観光拠点等整備事業費補助金 485,416千円
(債務負担 150,000千円)

(H28予算：186,818千円)

地域が主体となった全国からの誘客につながる観光拠点の整備や観光資源の発掘・磨き上げ等の取組を総合的に支援する。

- [主な取組] ・越知町キャンプ場の整備 (越知町)
 ・爪白キャンプ場の整備 (土佐清水市)



拡 (4) 歴史観光資源等強化事業費補助金 878,936千円

(H28.6月補正予算：540,000千円)

平成29年3月開幕の「志国高知 幕末維新博」の取組を通じて、地域会場を中心とした各地域の歴史資源を磨き上げ、磨き上げた歴史資源と地域の食や自然などを一体的に周遊できるコース(観光クラスター)を整備する。

- [主な取組] ・室戸世界ジオパークセンター(展示強化等)
 ・ジョン万次郎資料館(リニューアル工事等)
 ・四万十市立郷土資料館(リニューアル工事、周遊観光バス運行等)

(2) 地域観光商品造成等委託料 48,000千円

(H28予算：52,000千円)

地域コーディネーターによるハンズオン支援や「土佐の観光創生塾」の開催を通じ、地域の事業と広域観光組織等が一体となって地域の観光資源を磨き上げ、旅行商品の販売につなげる仕組みを強化するとともに、地域地域の観光クラスター化を推進する。

(3) 広域観光推進事業費補助金 96,000千円

(H27.2月補正予算(前倒し)：155,000千円)

地域が主体となった全国からの誘客につながる観光地域づくりを推進するため、広域観光組織が行う周遊化の促進や旅行商品づくり、セールス活動などを総合的に支援する。

拡 (5) 足摺海洋館施設整備費 121,711千円

(H28予算：58,949千円)

平成28年度に策定する基本設計に基づき、実施設計等を行う。



戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

- ④効果的な広報・セールス活動の展開 ⑥コンベンション等(MICE)の誘致活動の強化
 ⑤自然環境を活かしたスポーツ・ツーリズムの推進

拡 (1) 志国高知幕末維新博推進事業費補助金 660,958千円

(H28.9月補正予算：328,500千円)

平成29年3月に開幕の「志国高知 幕末維新博」の広報、誘客、受入にかかるとなる事業及び運営に係る経費について、志国高知幕末維新博推進協議会に対して補助する。

- [主な取組] ・マスメディア等を活用した全国的な露出を図る広報の展開
 ・会場での特別企画展示の開催、誘客イベントの開催 ……等



(2) 首都圏等観光情報発信事業 9,847千円

(H28予算：9,989千円)

テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアで取り上げもらうパブリシティ活動を進め、国内外における本県観光の認知度向上と誘客促進に取り組む。

(3) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

【観光客誘致事業 (国内)】 183,627千円 [H28予算：132,480千円]

県外旅行イベント等に対するセールス活動を通じて誘客促進を図る。
平成29年度は「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、セールスキャラバンを拡充するとともに、旅行商品造成の促進に取り組み、誘致拡大を図る。
また、企業マーケティングや研修、団体総会、学会等の誘致を強化する。

【プロモーション事業】 97,149千円 [H28予算：154,571千円]

メディア等を活用した観光情報の発信や、「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ「歴史」を核に「食」と「自然」を前面に押し出したプロモーションを展開する。



しあわせぐるり、
しこくるり。

2017 SHIKOKU
Destination Campaign

【スポーツ誘致事業】 157,630千円 [H28予算：135,992千円]

プロスポーツキャンプ、スポーツ大会やアマチュアスポーツの合宿への助成を拡充するとともに、自然を生かしたスポーツイベントの誘致や開催に係る支援等を行う。また、平成29年度は、28年度に設定したサイクリングコースのプロモーション等を拡充する。



戦略の柱 3 OMOTENASHI (おもてなし) の推進

② 国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

新

(1) 外国人観光案内所設置等補助金 7,410千円

外国人観光案内所の開設を支援するとともに、機能強化を図るためのサービスの提供に必要な経費を補助する。



拡

(2) 客船受入等業務委託料 51,081千円

[H28予算：14,518千円]
高知市中心市街地でクルーズ客船乗客の受入態勢の充実を図り、満足度を高めることで、クルーズ客船のさらなる誘致と高知への寄港の定着化につなげる。



拡

(3) 津波避難案内板設置工事請負費 8,254千円

[H28予算：6,775千円]
主要な観光地において、津波からの避難場所を多言語で表示した誘案内案内板等を設置する。



高知家の観光

拡

(4) 通訳コールセンター運営委託料 3,302千円

[H28予算：2,394千円]
外国人観光案内所や市町村観光協会等のスタッフが、外国人観光客の接客時に利用できる24時間対応の通訳コールセンターの利用を促進する。

(5) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

【観光客受入事業】 447,417千円 [H28予算：396,780千円]

「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、お城まわりの開催や龍馬バスポート事業、こうち旅広場の運営、My遊バスの運行、おもてなしタクシーの取組等の受入態勢のさらなる充実により、観光客の利便性の向上や周遊促進を図る。
また、増加が見込まれている外国クルーズ客船の寄港に対応し、オプショナルツアーを造成する国内旅行会社等との商談会の実施など、観光施設等の受入の強化を図る。



Search Page for
Restaurants
with
Multilingual Menu

戦略の柱4 国際観光の推進

⑧外国人向け旅行商品づくりの抜本強化
 ⑨四国4県が連携した広域国際観光の推進
 ※2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「よさこい」の戦略的な活用

拡 (1) 国際観光推進事業費 43,683千円

(H28予算：3,790千円)

本県への外国人観光客の誘致を図るため、国ごとの推奨モデルルートでの旅行商品化を推進するとともに、本県の国際観光推進のプロモーションを充実する取組として、本県の誇る「食」と連携したプロモーション活動や、多様な媒体を通じた海外への情報発信等に取り組む。

- ・推奨観光商品販売委託料 20,000千円
- ・食と連携したプロモーション委託料 5,400千円
- ・首都圏等海外マスメディア情報発信委託料 5,000千円



新 ・「よさこいガイドブック高知」作成委託料 3,000千円

よさこいを海外でPRするため、よさこいの歴史、本県をはじめとする国内外への広がり、また、楽譜などを掲載したガイドブックを作成する。

(3) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

[国際観光振興誘致事業] 103,557千円

(H28予算：126,262千円)

国内外の旅行博や商談会でのセールス活動などを引き続き行うとともに、世界的な旅行情報サイトと連携した本県の外国人向け観光情報サイト (VISIT KOCHI JAPAN) での情報発信により、海外での認知度のさらなる向上を図り、外国人観光客の誘客を促進する。



拡 (2) よさこいプロモーション事業費 69,679千円

(H28予算：15,043千円)

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界的なネットワークづくりや、海外向けプロモーションの展開により、よさこい発祥の地である本県の認知度を向上を図る取組を進める。

新 ・よさこいアンバサダー招へい等業務委託料 11,084千円

海外のよさこいチームの代表者を「よさこいアンバサダー」として認定することにより、海外でのよさこいや高知の認知度を向上させるとともに、世界的なネットワークを進める。

新 ・よさこいチーム海外派遣委託料 21,138千円

よさこいチームを通じた海外でのPR活動のため、県内よさこいチームを海外のイベントなどに派遣する。

(4) 四国ツーリズム創造機構負担金 35,000千円

(H28予算：35,000千円)

四国4県とJR四国などで組織する四国ツーリズム創造機構において、四国広域観光周遊ルートづくりやビジネスジャパン地域連携事業を展開する。

戦略の柱5 事業体の強化と観光人材の育成

⑩観光産業を支える事業体の強化や人材の育成と商品造り力の向上

(1) 地域観光商品造成等委託料 48,000千円 【再掲】

(H28予算：52,000千円)

旅行業の専門家等のコーディネート者を県内3ブロックに配置するとともに、事業者向けの講座を開講し、観光資源の磨き上げや旅行商品を造成していくための仕組みづくりと観光人材の育成を図る。



(2) 観光みらい会議の開催 841千円

(H28予算：1,210千円)

高知県内の観光関係者を対象に、マーケットの動向や旅行トレンド等を学ぶ講演会を開催し、意識の向上と士気の高揚につなげる。



平成29年度 地域地域の戦略的な観光地づくりの総合的な支援

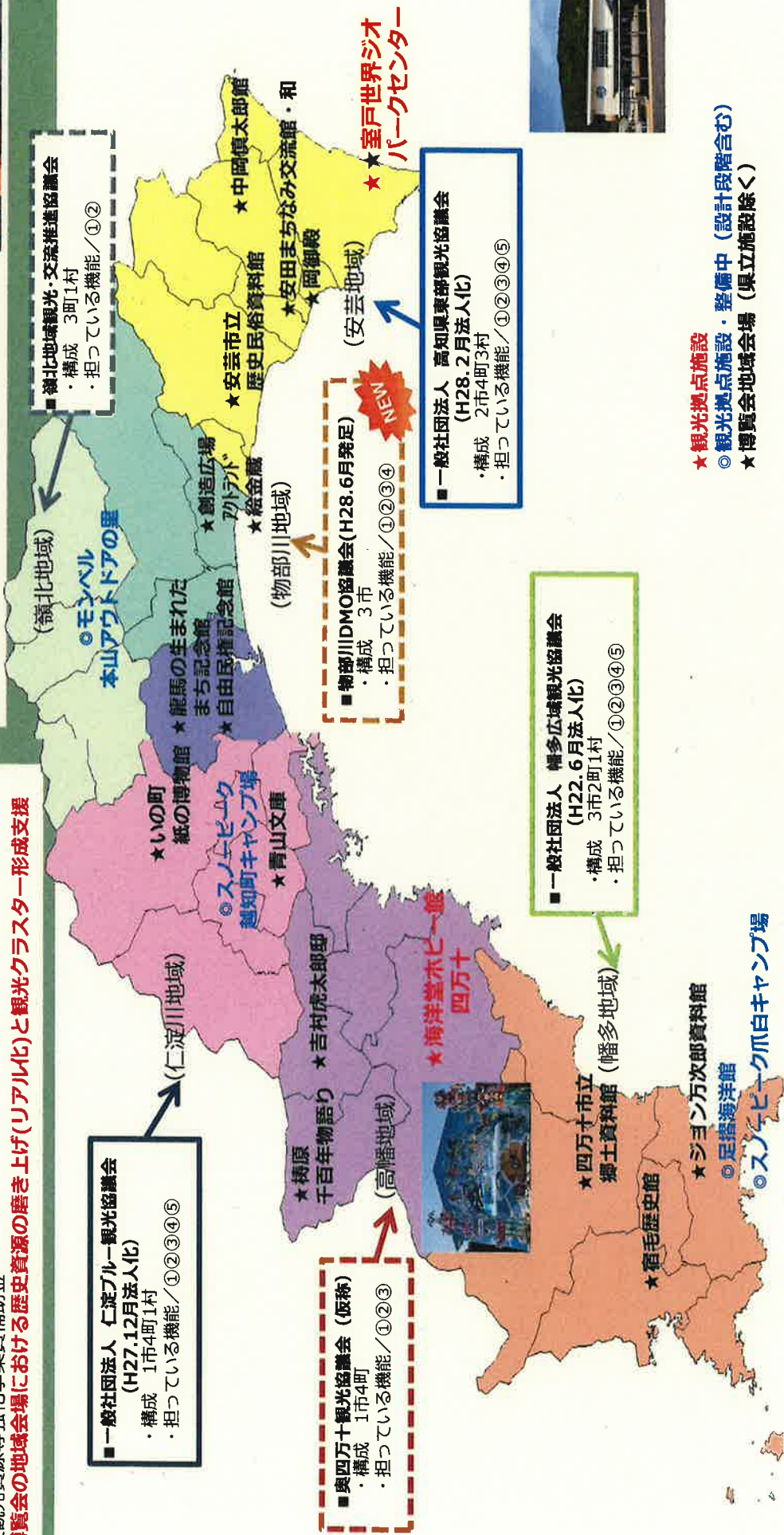
地域観光課
平成29年度見込額 1,533,132千円

【29年度の主な取組】

1. 観光拠点等整備事業費補助金
 - 全国からの誘客につながる観光拠点の整備、観光資源の発掘・磨き上げ、観光クラスター化への取組を支援
2. 地域観光商品造成等委託料
 - 地域の事業者と広域観光組織等が一体となって地域の観光資源を磨き上げ、旅行商品の販売につなげる仕組みをより強化し、事業者連携による地域観光クラスター化を推進
 - 地域コーディネーター配置及び観光創生塾の開催（西部、中部、東部）
 - 観光創生塾のカリキュラムの拡充（**モニターツアーやセールス活動の実施**）
 - **宿泊施設や交通事業者を核とした地域の消費拡大を促進するクラスターの形成**
3. 広域観光推進事業費補助金
 - 広域観光組織の定める中長期計画等を踏まえ、ステージに応じた事業展開を支援
4. 歴史観光資源等強化事業費補助金
 - **博覧会の地域会場における歴史資源の磨き上げ（リアル化）と観光クラスター形成支援**

【広域観光組織が担うべき機能】

- ① 企画統括機能／
 - マーケティング調査と戦略策定、総合窓口の整備
 - 県や市町村等との連携、観光クラスターづくりの推進
- ② 情報発信機能／パンフ作成、広域HP・SNS、プロモーション活動等
- ③ 旅行商品造成・販売機能／着地型商品造成・磨き上げ、販売等
- ④ 観光人材育成機能／観光事業者、ガイド・インストラクターの養成等
- ⑤ 広域観光ブランディング機能／
 - 観光資源や食・土産のブランド化
 - 法人化、旅行業の登録



★ 観光拠点施設
◎ 観光拠点施設・整備中（設計段階含む）
★ 博覧会地域会場（県立施設除く）



「志国高知 幕末維新博」の推進

「観光政策課」
当初予算案 986,900千円

開催の 趣旨

平成29年と平成30年は、大政奉還と明治維新からそれぞれ150年にあたる。この全国的にも意義深い2か年に、高知県の幕末維新期の歴史を辿る博覧会を県内全域で開催し、多くの観光誘客と、本県の歴史観光の基盤づくりを図る。

《博覧会の概要》 メイン会場とサブ会場、さらに地域会場を設け、盛り上げた歴史資源を核とした企画展示など様々なイベントを開催し、その魅力を発信する。また、各会場を拠点に地域の食や自然、体験型観光などを組み合わせた周遊コースに観光客を招き入れる。



平成29年度当初予算の概要

志国高知幕末維新博推進協議会の取組み

志国高知幕末維新博推進事業費補助金
[660,958千円]

①プロモーションの強化(396,160千円)

- 全国的な盛り上がりをつくり出していく取組**
- 全国テレビキー局など、全国メディアとの番組タイアップ
 - 魅力ある資源（人物を含む）などを活用した本県に集中して注目を集めるプロモーション展開
 - 航空会社など企業・団体とタイアップした広報

博覧会の開催を広く周知するための取組

- 公式ガイドブック、公式ホームページなどでの情報発信
- 新聞広告や高速道路SAでのパンフレット配架等によるPR
- 高速バスのラッピングや電車内広告などの交通広告の展開



観光コンベンション協会の取組み

観光振興推進事業費補助金
[325,942千円]

① とうち旅広場の運営 [とうち旅広場233,458千円]

- とうち旅広場の管理運営
- おもてなし海援隊の運営

② 旅行会社へのセールス [誘客事業46,613千円]

- 旅行会社への個別訪問や観光商談会を実施
- 旅行会社での店頭PRやWeb系旅行会社を活用し博覧会のプロモーションを展開する
- 旅行商品造成に係る助成



③ イベントの拡充 [受入事業33,258千円]

- 高知城お城まつり（夏・秋）
- 土佐の豊穰祭

④ 旬の観光情報の発信 [広報事業12,613千円]

国際観光の推進

国内外のメディアを活用したクロスメディアによる情報発信

事業の目的及び概要

外国人観光客の本県へのさらなる誘客のため、市場のニーズ（し好等）に応じ、高知の魅力を体感できる「旅板」観光資源で構成された、各市場毎の「(周遊)モデルルート」を造成し、海外旅行会社による当該ルートを含む「旅行商品」の販売に結び付ける。

平成28年度

- モデルルートの造成 (10コース)
 - [台湾]個人(1)・団体(2)
 - [台湾・香港共通]団体(2)
 - [香港]個人(1)・団体(2)
 - [シガガポ]個人(2)

平成29年度

- ◆台湾・香港・シガガポ → 継続販売
- ◆韓国・中国・タイ → モデルルートの新規造成販売
 - ①造成した商品の有力現地マガジンを活用した情報拡散
 - ②高知旅行の催行実績のある現地旅行会社に對するモデルルート商品の広告宣伝費等の助成
- 1. つくる
 - ①旅行情報誌の記者、プログラー等によるモデルルート評価とセールスポイントのブラッシュアップ **NEW**
 - ②高知旅行の催行実績のある現地旅行会社のノウハウを活用したモデルルートの追加企画とアムツアーの実施 **NEW**
 - ③国内航空会社のラントオブレート機能を活用した大都市圏と連携したモデルルートの造成と、ネットワークを活かした現地旅行会社のアムツアー招聘 **NEW**
 - ④国際線を有する他県との連携による台湾・香港・韓国での合同キャンペーンや、現地有力雑誌への共同記事掲載等 **NEW**
 - ⑤食をテーマにした誘客プロモーションによる旅行サイトでの商品販売(シガガポ) **NEW**

NEW

●(再掲)食をテーマとした誘客プロモーション(シガガポ) → 現地メディアによる情報拡散、旅行サイトによる商品販売

●(海外メディア招へい)
 ・ピケット・ジャパン(香港)
 (四週)4冊・地方連携
 (9事業:台・香・東南アジア)
 ・四国広域観光周遊ルート形成促進事業(欧米18社)

●(再掲)海外雑誌/WEB等への記事掲載(最大3回)



●WEB「VISIT KOCHI, JAPAN」による情報発信
 ※5言語→6言語(仏語追加)
 コンテンツの充実、WEB広告の実施
 ●着地型観光パンフレットの製作(30,000部)
 (国際空港、観光案内所、現地旅行会社で配布)

NEW

高知の情報を強かに発信 (主なもの)

- 1 WEBによる情報発信
 - 世界的な旅行情報サイトとの連携による情報発信(通年)
 - 世界的な旅行情報サイトへの観光情報、施設の掲載等(最大1000施設)
 - 「VISIT KOCHI, JAPAN」による情報発信(英など6言語/359,529PV(H28.4~10月))
- 2 紙媒体による情報発信
 - 着地型観光パンフレット製作(英など6言語/3種類計79,600部)
 - 海外雑誌への記事掲載(台湾・香港 最大3回)
- 3 メディアへの情報発信
 - 首都圏マスメディアへの情報発信(年6回プレスリリース予定/英・中(繁))
 - 海外メディア招へい(通年)

NEW

●(再掲)「国際線を持つ他県との連携」
 ●海外現地雑誌への共同掲載(最大3回)
 ●共同現地商談会 → 共同キャンペーン実施



●(首都圏での情報発信)
 ●首都圏マスメディア情報発信事業
 ●東京都中国四国連絡協議会(在東京・在外日本人メディアを招へい)

●SNS(英・中(繁))・口コミによる情報拡散

OMOTENASHI (おもてなし) の推進

国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

もてなす

1 市町村等の取組を支援

- 外国人観光案内所設置等補助金による支援 **NEW**
 市町村等が日本政府観光局(JNTO)が運用する外国人観光案内所認定制度への応募や認定、運営を行う際に必要な整備等に助成し、外国人観光案内所の新規開設の促進を図り、外国人観光客が安心して快適に周遊観光できる環境を整える。
- 補助率 2分の1
- 補助額及び補助の条件

●補助額等	●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援
●補助率 2分の1	●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援
●補助額及び補助の条件	●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援
●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援
●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援	●外国人観光案内所設置等補助金による支援

2 県の取組のさらなる強化

- 船客受入業務委託 拡充
 高知市中心市街地でクルーズ客船乗客の受入態勢の充実を図り、満足度を高めるとともに、クルーズ客船のさらなる誘致と寄港の定着化につなげる。
- 津波避難案内板の設置
 主要な観光地において、津波からの避難場所等を多言語で表示した誘導案内板を設置する。
- 多言語通訳コールセンターの開設
 外国人観光案内所や龍馬バスポート参画施設等が外国人観光客の接客時に利用することができる24時間対応の多言語通訳コールセンターを設置する。
- 観光客受入事業 拡充
 「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、お城まつりの開催や龍馬バスポート事業、こうち旅広場の運営、My遊バスの運行、おもてなしタクシーの取組等の受入態勢のさらなる充実等により、観光客の利便性の向上や周遊促進を図る。

2020年東京オリ・パラに向けた「よさこい」の戦略的な活用

目指すべき姿

2020年東京オリ・パラを通じて、本県の主要観光資源である「よさこい」を「日本の祭り」として世界にアピールすることにより、海外での「よさこい」と「本家高知」の認知度の飛躍的な向上と本県へのインバウンド誘客につなげていく

世界に向けたプロモーションの展開

STEP1

(2016 : RIOオリパラ)

- ◆2016年リオ大会の「ジャパンハウス」で「よさこい」を紹介
→東京オリパラ組織委員会が設置する「46道府県のPRエリア」でよさこい写真パネルの展示等
- ◆県による「よさこいアンバサダー」の認定
- ◆東京オリパラへ向けた全国のよさこいとの連携
→キックオフイベントの実施(2017年2月予定)

STEP2

(2017~2020夏)

- ◆海外でのさらなるプロモーション
(「よさこい」=「日本の祭り」としての認知度向上)
- ◆東京オリパラへ向けた全国のよさこいとの連携
- ◆「東京2020参画プログラム」(東京オリパラ組織委員会)等の認証

STEP3

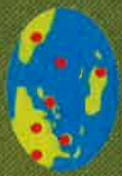
(2020夏 : 東京オリパラ)

- ◆2020年東京大会の開閉会式で全国が一体となって「よさこい演舞」
- ◆開会式後(2020.8.9)、よさこいにより国内外のアスリート等をおもてなし

STEP4

(レガシー)

- ◆2020秋「よさこい世界大会」の開催
→全国、世界の踊り子が競演する大会を全国的に開催
→「レガシー」として継続開催



2016年度

- 「よさこいアンバサダー」の認定
 - ・ヨーロッパやカナダの6か国19名
 - よさこいチーム海外派遣
 - ・台湾や韓国のイベントに県内のよさこいチームを派遣 (3チーム約70名)
 - よさこい海外普及支援員(仮称)の派遣
 - ・海外における踊りの技術やチームづくり等への支援のため派遣

拡充

拡充

- 東京オリパラへ向けた全国のよさこいとの連携
 - ・キックオフイベントの実施

2017年度

- 「よさこいアンバサダー」の認定
 - ・海外のよさこいチーム代表者を「よさこいアンバサダー」として高知県が認定 (アジア、東南アジア等7か国21名を招へい)
 - 県内よさこいチームの海外派遣
 - ・よさこいを活用した海外でのプロモーション活動のため、県内チームを海外のイベント等に派遣 (3地域約70名を派遣)
 - 「よさこいガイドブック高知」の作成 NEW
 - ・よさこいの歴史などを外国語(英語)でまとめたガイドブックを作成し、海外のプロモーション活動等に活用 (10,000部)
 - 「よさこい海外普及支援員(仮称)」の派遣
 - ・海外において、踊りの技術を高めたり、曲作りを行う等、よさこいのチームづくりを行っていくにあたり、高知から普及支援員(仮称)を派遣



- 東京オリパラへ向けた全国のよさこいとの連携した活動
 - ・実行委員会による事業展開等の協議、国内の主要な祭り(イベント)への県内よさこいチームの派遣

平成29年度南海トラフ地震対策関連事業予算見積一覧表

予算計上課	細目事業名 (細々目名or事業名)	具体的な事業内容	平成29年度 見込額				行動計画への対応 項目別/内容
			金額	財源			
				(一)	(四)	(その他)	
観光政策課	観光振興推進事業費 (旅館業事業継続計画策定 支援事業等委託料)	南海トラフ地震に備えるため、県内宿泊施設における津波 避難訓練の実施、マニュアルの改訂を行うとともに、事業 継続計画の策定を促進する。	5,859	0	0	2-16 津波からの避難の促進 No.③ 旅館・ホテル事業者による津波避難マニュアル(外国人宿泊者への対応 含む)に基づく避難訓練の実施及びその結果を踏まえたマニュアルの見直 しを促進 4-15 観光産業の再興 No.② 旅館・ホテルの事業継続計画(BCP)策定を促進	
おてなし課	おてなし基盤整備事業費 (津波避難案内板設置工事 等設計書作成委託)	主要な観光地において、多言語で津波避難場所などを表示 した案内板等の設置工事に必要な設計書を作成する。	985	0	0	2-16 津波からの避難の促進 No.③ 津波浸水想定区域の観光地において津波からの避難場所を示す誘導看板 を設置	
おてなし課	おてなし基盤整備事業費 (津波避難案内板設置工事 請負)	主要な観光地において、多言語で津波避難場所等を表示し た案内板を設置する。	8,254	0	0	2-16 津波からの避難の促進 No.③ 津波浸水想定区域の観光地において津波からの避難場所を示す誘導看板 を設置	
おてなし課	おてなし活動推進費 (観光ガイド育成事業費)	各地域で実施する観光ガイド団体への研修交流会の中で、 津波避難等の意見交換を行うとともに、ガイドコースへの 避難場所の設定等を呼びかける。	2,598	0	0	2-16 津波からの避難の促進 No.③ 各観光ガイド団体のガイドコース中の避難場所までの避難訓練の実施及 び必要に応じた避難場所の見直しの促進	
観光政策課	観光振興推進事業費 (南海トラフ地震対策事業 費)	観光業の復興に向けた事前準備として、県内の観光施設や 旅館ホテル等に対して、復興のための条件・環境・要望等 についての調査を行う。	360	0	0	4-15 観光産業の再興 No.② 業種別の観光業に係る東日本大震災などで被災した都道府県等への視察 等による情報収集と必要な対策の分析を実施し、各事業者のBCPでは解決 し得ないレベルの対策の検討	

新：新規事業 拡：拡充事業 改：手法改善

H28<見直し(廃止)事業> 107,646千円

1. 見直し(手法改善等)

1) よさこいを活用した戦略的なプロモーション(おもてなし課)

①東京オリ・パラに向けたプロモーション事業費

→課題1、2ハ

②イベント等参加支援事業費

→課題1、2ハ

42,923千円(一)

概要

東京オリ・パラを通じて本県の主要観光資源である「よさこい」を「日本の祭り」としてアピールすることにより海外での認知度を向上

成果

- (a) 「よさこいアンバサダー」の認定
H28.8時点 6カ国7チーム 19名
- (b) よさこいチーム海外派遣
・台湾(2カ所2チーム60名予定)
・韓国(1カ所1チーム8名)
- (c) リオジャパンハウスのよさこい写真パネル展示
・29日間 延べ入場者約82,000名
- (d) ①東京オリ・パラへ向けた全国のよさこい団体等との連携
・H28.10時点 54団体/220団体等が賛同の意思表示
②「よさこいfor Tokyo 2020プロジェクト」(仮称)
キックオフイベントの実施(H29.2予定)

2) 観光振興推進事業費補助金(観光政策課)

推奨観光商品造成販売委託事業→課題3ハ

31,723千円(一)

概要

来高する外国人旅行者の実態調査及びその調査結果に基づき、趣味・嗜好に応じた旅行商品の造成・販売

成果

- (a) 本県を訪れた外国人旅行者の実態把握
- (b) 外国人向け推奨観光資源リストの完成(約200資源)
- (c) 外国人向けモデルルートでの完成(3市場10ルート)

H29<国際観光推進事業費> 121,503千円

課題1 よさこいが踊られている国や地域のさらなる拡大

よさこいアンバサダー招へい等業務 11,084千円(一)

委託料(おもてなし課)

事業概要

海外のよさこいチーム代表者等を「よさこいアンバサダー」として高知県が公式に認定する。

見込まれる成果とKPI

認定したアンバサダーによる、各国でのよさこい普及
アンバサダー認定数 6カ国(地域)、19名 → 13カ国(地域)、40名

課題2 よさこいの認知度のさらなる向上

よさこいチーム海外派遣委託料 21,138千円(一)

改(おもてなし課)

事業概要

海外でのPR活動をより効果的に展開するため、県内のよさこいチームを派遣する。
見込まれる成果とKPI

現地でよさこいを披露することによって、プロモーション効果をより高める

課題3 外国人目線での各市場に応じたモデルルートのブラッシュアップ

推奨観光商品造成販売委託事業 20,000千円(一)

改(おもてなし課)

事業概要

H28に造成した、台湾・香港・シンガポール市場向けの推奨観光商品のブラッシュアップに加え、現地エージェントへの販売に対する支援(広告宣伝費の助成等)などを行い、販売を強化していくとともに、中国・韓国・タイ市場向けモデルルートの商品化を促進する。
見込まれる成果とKPI

延べ宿泊者数 5,000人泊増

見直し